



志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
令和6年度学校だより
第10号
令和6年12月24日発行

「学ぶ」ことは「真似ぶ」こと

今年も残すところわずかとなりました。寒さが一段と厳しくなる中、子どもたちは本日、80日間の2学期を終了しました。

長い2学期、運動会をはじめとするたくさんの行事を経験することで、子どもたちは大きく成長しました。コロナ禍を経て、それぞれの行事では他学年や他校との関わりが以前のように戻ってきています。そうした関わりの中では、子どもたちがこれまで知らなかったことに会うことがあります。

「新しいことを学ぶときには、まず真似る（まねる）ことから始めよ。」と言われます。「学ぶ」の語源は「真似る（まねる）」「真似ぶ（まねぶ）」であり、また、「真似ぶ」が「学ぶ」からできたという説もあるそうで、どちらにしても「学ぶ」と「真似る」は深い関係にあるようです。学校では、例えばなかよし班遊びでは1年生から6年生が一緒にいろいろな遊びをしますが、いつでも6年生がリーダーをするわけではなく、5年生、4年生も遊びを進める役を担うことがあります。その進め方は、誰かが詳しく教えるわけではありません。上級生がしていたことを真似しながら行うことで、だんだんとうまく進められるようになっていきます。先日は、5年生が担当でしたが、11月に新舞鶴小学校の5年生との交流で行った遊びを取り入れていました。「真似」ではありますが、それが新しい志楽小学校の遊びになっていくかもしれません。



また、子どもたちは大人のすることをよく見ています。家庭の中で過ごしていた時には、家族の言うこと、することを真似して学びます。そして、成長するにつれて行動範囲が広がり、大人が知らない（見ていない）ところで子どもが見聞きしたことから学び、判断し、行動するようになります。成功したり、失敗したりしながら、時には注意を受けることもあるかもしれませんが、その中で成長していきます。この子どもたちの成長は、大人に「見守られている」という安心感や「自分でできる」という自信があってこそ、新たな挑戦への勇気が湧いてくるものだと思います。大人の役割として、子どもたちがそうした安心感や自信が持てるようにし、3学期も、また新年を迎えるにあたって、子どもたちの挑戦を支え、応援していきたいと思えます。

全校児童が元気に2学期終業式を迎えることができましたのも、保護者の皆様、地域の皆様のおかげだと心より感謝申し上げます。来年も変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、お願いいたします。どうぞよいお年をお迎えください。

校長 西井 佳寿美
教職員 一同



いつも見守りをありがとうございます

ダイヤモンドパトロール隊の皆様・地域の皆様・保護者の皆様には、登下校の安全をはじめとし、日々子どもたちを見守っていただき、ありがとうございます。

冬休みを迎えるにあたって、学校では遊び方や自転車の乗り方等、地域での安全な過ごし方について「冬休みのくらし」をもとに指導をしました。ご家庭でも改めてご指導をお願いします。

地域の皆様におかれましても、子どもたちの様子でお気付きになったことは、どうぞ遠慮なくその場でご指導いただけますようお願いするとともに、学校にもお伝えください。よろしくお願ひいたします。



（ヘルメットの着用を！）

ダイヤモンドパトロール隊を募集しています！！

ダイヤモンドパトロール隊の活動に参加して下さる方を随時募集しています。ご都合のつくときだけで結構です。可能な範囲で子どもたちの登下校の際の見守りをお世話になれませんか？

一人でも多くの方にご参加いただき、子どもたちに声をかけていただくとありがたいです。参加していただける方は、学校（62-4690）までご連絡ください。

